

平成23年12月13日
消費者庁

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 5件
(うち開放式ガス瞬間湯沸器(都市ガス用)1件、ガス栓(LPガス用)1件、石油ストーブ(開放式)1件、石油給湯機2件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故
該当案件無し
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故 5件
(うち湯たんぽカバー1件、湯たんぽ1件、加湿器1件、電気こたつ1件、空気清浄機1件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故公表等調査会及び第三者委員会合同会議(※)において、審議を予定している案件
該当案件無し

1.～4.の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者委員会消費者安全専門調査会製品事故情報の公表等に関する調査会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 株式会社ノーリツが製造した石油給湯機について（管理番号A201100680及びA201100681）

① 事故事象について

株式会社ノーリツが製造した石油給湯機において、当該製品を使用中、当該製品から出火し、当該製品が焼損する火災が2件発生しました。事故の原因は、現在、調査中です。

② 当該製品のリコールについて

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）の石油給湯機付ふろがま及び石油給湯機について、電磁弁に使用されているリング（パッキン）が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生したことから、漏れた灯油に引火する火災が発生したため、平成14年10月24日から無償改修を開始し、平成18年12月4日には、再度新聞社告を掲載し、注意喚起を行っています。さらに、平成21年12月からは、戸建住宅へのチラシ直接配布や、全石連（全国石油商業組合連合会、全国石油共済協同組合連合会）を通じて、47都道府県の石油商業組合及び石油組合に加盟している石油販売事業者と協力を依頼し、灯油の納入先にリコール対象製品がないのかの確認を行うなど対象製品の改修促進を図っています。

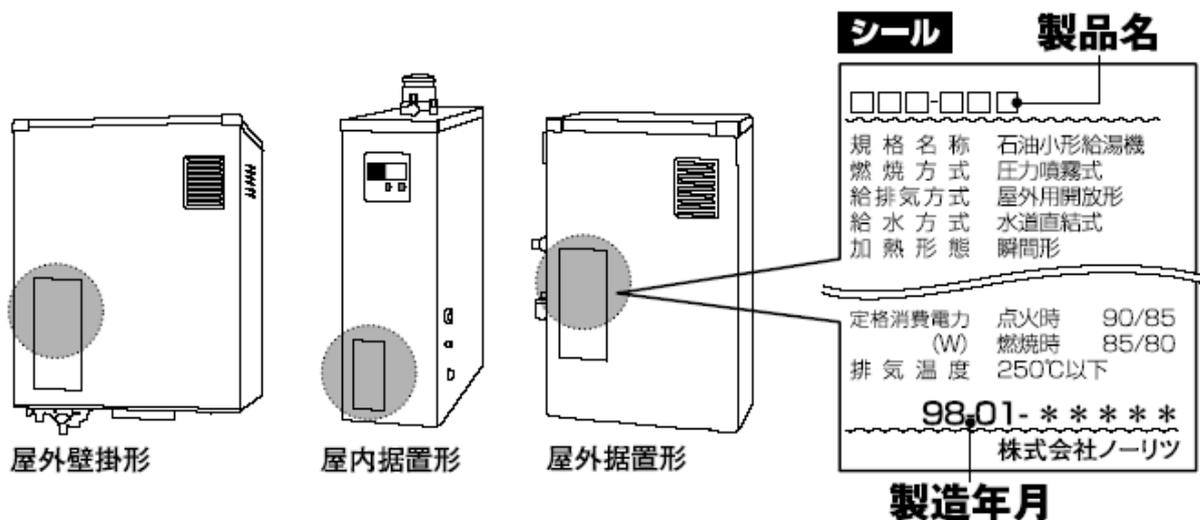
また、社団法人日本ガス石油機器工業会では、同構造の電磁ポンプを有する石油給湯機を製造した事業者等6社と共同で、新聞社告を新聞各紙に掲載し、未改修の該当機種をお持ちの消費者に対して速やかに連絡を頂くよう呼び掛けを行っています（詳細は、(2)参照。）。

③ 対象製品等：会社名、ブランド、機種・型式名、該当製造年月

会社名	ブランド	機種・型式名	該当製造年月
(株)ノーリツ	NORITZ	OTQ-302 * OTQ-303 * OTQ-305 * OTQ-403 * OTQ-405 * OQB-302 * OQB-305 * OQB-403 * OQB-405 *	1997年(平成9年)3月～ 2001年(平成13年)3月
高木産業(株)	パーパス	AX-400ZRD	
日立化成工業(株) (現 (株)ハウステック)	—	HO-350 * HO-360 * HO-450 * KZO-460 *	

※製品名の末尾の*には英数字が続きますが、すべて該当品です。

※リコール対象製品の製品名及び製造年月は器具本体前面のシールに表示されています。



改修対象台数 180,900台
改修率 98.2% (平成23年11月30日現在)

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ製造事業者等の行う無償改修を受けていない方は、下記問合せ先に速やかに御連絡ください。

なお、改修対象製品には、株式会社ノーリツの「NORITZ」ブランドのほか、高木産業株式会社の「パーパス」ブランド、日立化成工業株式会社（現 株式会社ハウステック）の製品もあります。

(株式会社ノーリツの問合せ先)

電話番号：0120-018-170

受付時間：9時～19時（平日）

9時～17時（土・日・祝日）

ホームページ：<http://www.noritz.co.jp/info/05-1.html>

(高木産業株式会社の問合せ先)

電話番号：0120-575-399

受付時間：9時～18時（土・日・祝日、年末年始を除く。）

ホームページ：

<http://www.purpose.co.jp/home/announce/product/wh200210.html>

(株式会社ハウステックの問合せ先)

電話番号：0120-551-654

受付時間：9時～17時30分（平日）

ホームページ：<http://www.housetec.co.jp/topics/05furogama.html>

(2) 社団法人日本ガス石油機器工業会及び製造事業者の取組について

社団法人日本ガス石油機器工業会では、石油給湯機等について上記リコール開始後も未改修品での事故が発生しているため、同構造の電磁ポンプを有する石油給湯機等を製造した株式会社ノーリツ、東陶ユプロ株式会社（現 TOTO株式会社）、長州産業株式会社及びOEMを含む6社と共同で、平成20年11月から12月までにかけて

て、順次、新聞社告を新聞各紙に掲載し、未改修の該当機種をお持ちの消費者に対して速やかに連絡を頂くよう呼び掛けを行っています。

また、同工業会のホームページにおいて、東京ツチヤ販売株式会社及び株式会社ワカサの2社を加えた8社について注意喚起をしています。

対象製品等：会社名<ブランド名>、問合せ先、機種・型式名、製造期間

会社名<ブランド名>	問合せ先	機種・型式名		製造期間
長州産業(株) <C I C>	ホームページ www. choshu. co. jp 電話番号 0120-652-963	PDX-403D	DX-403D	平成8年5月～ 平成11年10月
		PDF-403D	DF-403D	
		PDX-403DF		平成7年8月～ 平成11年6月
		PDF-321V	PDF-401A	
		PDF-411D-A	DX-411D	
		PDX-321V	PDX-411D	
東陶機器(株) (現TOTO(株)) <TOTO>	ホームページ www. toto. co. jp 電話番号 0120-444-309	RPE32K *	RPE40K *	平成7年8月～ 平成11年6月
		RPE41K *	RPH32K *	
		RPH40K *	RPH41K *	
(株)ノーリツ <NORITZ>	ホームページ www. noritz. co. jp 電話番号 0120-018-170	OTQ-302 *	OTQ-303 *	平成9年3月～ 平成13年3月
		OTQ-305 *	OTQ-403 *	
		OTQ-405 *	OQB-302 *	
		OQB-305 *	OQB-403 *	
		OQB-405 *		
高木産業(株) <パーパス>	ホームページ www. purpose. co. jp 電話番号 0120-575-399	TP-BS320 * D (但し、TP-BS320は除く)		平成7年8月～ 平成11年6月
		TP-BS402 * D TP-BSQ402 *		
		AX-400ZRD		平成9年3月～ 平成13年3月
東京ツチヤ販売(株) <ツチヤ>	ホームページ www. choshu. co. jp 電話番号 0120-652-963 長州産業(株)で受付	AX-402A	EX-403A	平成8年5月～ 平成11年10月
		FK-405A	FC-406A	
ネポン(株) <NEPON>	ホームページ www. nepon. co. jp 電話番号 0120-444-309 TOTO(株)で受付	URA320	URA320S	平成7年8月～ 平成11年6月
		URB320	URB320S	
		UR320	UR320S	
		UR404S		
日立化成工業(株) (現(株)ハウステック)	ホームページ www. housetec. co. jp 電話番号 0120-551-654	HO-350 *	HO-360 *	平成9年3月～ 平成13年3月
		HO-450 *	KZO-460 *	
(株)ワカサ <ワカサ>	ホームページ www. choshu. co. jp 電話番号 0120-652-963 長州産業(株)で受付	WBF-400C		平成8年5月～ 平成11年10月

※製品名の末尾の*には英数字が続きますが、すべて該当品です。

(社団法人日本ガス石油機器工業会)
ホームページ : <http://www.jgka.or.jp/>

■各製造メーカーの代表機種

※詳細はメーカーのホームページをご参照下さい

該当機種 (写真は一部)

・本体と製品名・製造年月日は器具本体前面にシールにて表示されています。

※形状は各社により、排気部の形状など異なります。

※掲載写真は一部ですべてではありません。詳細はメーカーのホームページ
をご覧下さい。



長州産業



TOTO



ノーリツ



(本発表資料の問合せ先)

消費者庁消費者安全課

(製品事故情報担当)

担当 : 中嶋、榎本、川船 ^{かわふね}

電話 : 03-3507-9204 (直通)

F A X : 03-3507-9290

(株式会社ノーリツが製造した石油給湯機についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通グループ製品安全課製品事故対策室

担当 : 宮下、谷、野中

電話 : 03-3501-1707 (直通)

F A X : 03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201100675	平成23年11月29日	平成23年12月8日	開放式ガス瞬間湯沸器(都市ガス用)	RUS-V51RTA	リンナイ株式会社	火災	当該製品を使用後、当該製品上部から出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。現在、原因を調査中。	神奈川県	平成23年12月8日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201100676	平成23年11月22日	平成23年12月8日	ガス栓(LPガス用)	YGF-200EL(矢崎総業株式会社ブランド)	大洋技研工業株式会社(矢崎総業株式会社ブランド)	火災	当該製品を接続したガスこんろを使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品のガス機器が接続されていない側の口を開栓した可能性を含め、現在、原因を調査中。	福岡県	平成23年11月24日に経済産業省原子力安全・保安院にて公表済事故 平成23年12月1日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201100678	平成23年11月20日	平成23年12月8日	石油ストーブ(開放式)	RC-276	株式会社トヨミ	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品の油受皿が腐食し穴が開いたことにより、灯油が漏洩し引火した可能性を含め、現在、原因を調査中。	佐賀県	平成23年12月1日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201100680	平成23年12月3日	平成23年12月9日	石油給湯機	OQB-302Y	株式会社ノーリツ	火災	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。事故前から異音が発生する不具合が発生していた状況を含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	製造から10年以上経過した製品 平成14年10月24日からリコールを実施 改修率 98.2%
A201100681	平成23年12月4日	平成23年12月9日	石油給湯機	OTQ-302SAWY	株式会社ノーリツ	火災	当該製品を使用中、湯温が下がったため確認すると、当該製品の前面カバー下部が外れ、その隙間から出火する火災が発生しており、当該製品を焼損した。現在、原因を調査中。	新潟県	製造から10年以上経過した製品 平成14年10月24日からリコールを実施 改修率 98.2%

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

該当案件無し

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201100677	平成23年1月16日	平成23年12月8日	湯たんぽカバー	重傷1名	当該製品に湯たんぽを入れて使用中、足に低温火傷を負った。湯たんぽを当該製品に入れ長時間皮膚に接触させて使用した可能性を含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	事業者が事故を認識したのは11月28日 湯たんぽに関する事故(A201100679)と同一
A201100679	平成23年1月16日	平成23年12月8日	湯たんぽ	重傷1名	湯たんぽカバーに当該製品を入れて使用中、足に低温火傷を負った。当該製品を湯たんぽカバーに入れ長時間皮膚に接触させて使用した可能性を含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	事業者が事故を認識したのは11月29日 湯たんぽカバーに関する事故(A201100677)と同一
A201100682	平成23年10月22日	平成23年12月9日	加湿器	火災	当該製品の電源プラグをコンセントに接続したところ、当該製品と電源コードの接続部(マグネットプラグ)から出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。当該製品のマグネットプラグ部が腐食していた状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者が事故を認識したのは11月28日 報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し嚴重注意
A201100683	平成23年11月21日	平成23年12月9日	電気こたつ	火災	当該製品のスイッチを入れ、その場を離れたところ、異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。当該製品のヒーターユニット部に異物が入り込み出火した可能性を含め、現在、原因を調査中。	岡山県	
A201100684	平成23年11月11日	平成23年12月9日	空気清浄機	火災	当該製品を使用中、外出したところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。事故前からランプが消える不具合が発生した状況を含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	事業者が事故を認識したのは12月5日

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故公表等調査会及び第三者委員会合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し